

令和6年度 第3回 いちき串木野市洋上風力発電調査研究協議会 議事要旨

日 時：令和7年3月12日（水）15：00～17：00

場 所：いちき串木野市防災センター 2階会議室

■参加者

●委員

串木野市漁業協同組合 代表理事組合長	早崎 達哉
鹿児島県漁業協同組合 串木野市島平支所 支所運営委員長	迫田 洋則
市来町漁業協同組合 代表理事組合長	大久保 光朗
いちき串木野市まちづくり連絡協議会 本浦地区まちづくり協議会長	大西 隆志
いちき串木野市まちづくり連絡協議会 支え合う川南みんなの会長	米園 仁志
いちき串木野市地域女性団体連絡協議会 会計	小原 文子
いちき串木野市地域女性団体連絡協議会 監事	宇都 トミ子
いちき串木野商工会議所 会頭	勘場 裕司
NPO 法人鹿児島いちき串木野観光物産センター 理事長	久木山 睦男
いちき串木野薩摩沖 次世代エネルギー推進協議会	福留 進
南薩砂利(株) 代表取締役	北山 和博
鹿児島県エネルギー政策課	福留 大晴
いちき串木野市 副市長	出水 喜三彦
いちき串木野市 企画政策課長	山崎 達治
いちき串木野市 シェアーズ課長	長崎 崇
いちき串木野市 水産商工課長	福山 昌浩
いちき串木野市 産業立地課長	大平 博喜
いちき串木野市 都市建設課長	吉見 和幸
いちき串木野市 市民生活課長	西久保 敏彦

●オブザーバー

日置市総務企画部企画課	園田 賢一
経済産業省 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 電力・ガス事業課 課長	中島 功

●事務局

いちき串木野市 産業立地課 エネルギー・企業立地係 係長	十島 航
いちき串木野市 産業立地課 エネルギー・企業立地係 主事補	齋藤 瑠汰

●委託事業者

株式会社建設技術研究所 大阪本社資源循環・エネルギー部 グループ長	齋藤 大樹
株式会社建設技術研究所 大阪本社資源循環・エネルギー部 技師	荒武 佑哉

■欠席者

●委員

羽島漁業協同組合代表理事組合長	平石 良博
いちき商工会 会長	松下 明弘
甌島商船(株) 取締役海務部長	石原 義三

●オブザーバー

江口漁業協同組合	久木留 秀行
----------	--------

1. 開 会
2. 挨拶
3. 協議事項

(1) 漁業振興策の検討結果について

- 委員 秋田港と能代港の洋上風力発電所の水中動画では、発電所付近における蜆集効果について説明されていたが、周辺に人工漁礁の設置はされていないのか。
- 事務局 港湾区域内であるため、人工漁礁を設置することは難しい。なお、港湾区域外の一般海域における人工漁礁の設置については、現在促進区域に指定された先進的な地域における法定協議会にて漁業振興策の検討中である。
- 会長 漁業振興策のとりまとめとスキーム案について問題ないか。
- 委員一同 問題ない。

(2) 地域振興策の検討結果について

- 委員 先行利用者として影響を受ける可能性が高い海砂採取事業者に関する地域振興策の記載がない。先行利用者に対して負担がかからないような地域振興策を検討してもらいたい。
- 事務局 昨年度、海砂採取事業者に対してヒアリングを行い、操業範囲の実態を把握し、操業範囲に影響がない海域としてゾーニングマップを整理している。海砂採取事業者については、サプライチェーン構築における資材調達場面などで参画いただきたいと考えている。
- 委員 市と事業者で協議を重ねながら共存・共栄を目指していきたい。
- 会長 地域振興策 とりまとめについて問題ないか。
- 委員一同 問題ない。

(3) 港湾活用の検討結果について

- 委員 串木野新港が拠点港及び O&M 港と串木野漁港が O&M 港として可能性を有するとした理由は何か。
- 事務局 基礎調査の中で、P14 図中の「洋上風力拠点ゾーン」においてプレアッセンブリ等の港湾利用にも耐え得るような地盤を整備することで、拠点化を図っていくことができると判断したためである。
- 委員 拠点港や O&M 港の建設に係る工期はどれくらいか。
- 事務局 港湾計画から見直す必要があるため、ある程度の時間を要する。「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」に基づく促進区域指定のプロセスと並行して港湾整備を進める必要になると想定している。
- 委員 串木野新港を拠点港、串木野漁港を O&M 港として同時に活用する可能性はあるか。
- 事務局 棲み分けて港湾利用を行うことは可能ではあるが、昨年度に漁港の利活用について漁港管理者にヒアリングを行い、手続き上の条件から難しいことを確認している。
- 委員 串木野漁港に関するイメージ図がない。
- 事務局 本日の協議会では、串木野新港を中心に説明を行ったが、串木野漁港が O&M 港として利用する際のイメージ図も作成している。
- 会長 港湾活用のとりまとめについて問題ないか。
- 委員一同 問題ない。

4. その他

委員

洋上風力発電建設の反対運動が行われていると聞いているが、事務局としてどのような対応を行っているか。

会長

建設に伴う騒音問題などの健康被害に関する懸念があると意見があがっているが、現段階で市として対応できることは限られる。今後、法定協議会が設置された際に、さまざまな関係者から寄せられた意見を地元行政から国に対して要望することになると考えている。

オブザーバー

今回説明された検討策について様々な将来像が示されている一方、実現に向けた課題の抽出がさらに必要であると感じた。他地域の計画状況も参考にしつつ計画を進めてもらいたい。また、第7次エネルギー基本計画が閣議決定され、洋上風力発電は重要な施策の1つとして位置付けられているため、引き続き協議を進めてもらいたい。

5. 閉 会

以上